



加古だより

加古小学校通信
令和5年1月号
No.35 (308号)

また、ほめられた！

校長 吉田 博明

<スプーンおばさんから、また！>

去年最後のスプーンおばさんの日、こんなお話をしてほめてくださいました。4年生の読み聞かせで、聞く態度がとても良かったこと。終わった後、担任の先生の「立ちましよう。」という声掛けで、「スプーンおばさんへお礼のあいさつをするのだ。」と気づいた何人かの人、前ではなく横にいたボランティアの方を見て立ったということ。その洞察力に驚いて、「素晴らしい。」とほめてくださいました。そして、今年初めてのスプーンおばさんの日。この日も別のボランティアの方が、「4年生はあれだけ多い人数なのに、読み始めるととても姿勢よく、静かに聞いてくれて感心しました。」とほめてくださったのです。加古小学校で一番人数が多い4年生。でも、2回続けてスプーンおばさんから聞く態度をほめていただいて、とても嬉しかったです。

<他にもこんな姿が！>

年が明けて、他の学年にも成長した姿がどんどん見られています。低学年下校の日、なかなか静かに集まれなかった1年生が、教室を出てから運動場まで、静かに歩いて集まることができるようになってきました。上級生の2年生はもちろん静かです。中には1年生の子に「静かにしいよ。」とそっと教えてくれる子も増えてきました。

習字の時間。3年生はボランティアの先生が教えてくださいます。先日、「加古小の3年生の子たちは、うまくなるのが早い。この前の書初めでも、どんどん教えたことを吸収してくれた。」とほめてくださいました。

<高学年の気合が違う!!>

高学年は気合が入ってきました。階段の踊り場には5年生の目標が貼ってあります。「6年0学期に達成すること」。そこには、「たくさんの人にあいさつをする」や「誰にでも礼儀正しくする」などだけでなく、「オーバーアクションをする」や「意見をたくさん出し合う」など、5年生の苦手なことに挑戦する！という気合を感じる目標がたてられていました。6年生は、いよいよ卒業が目の前に迫ってきました。6年生の3学期は、普段の生活の中でも、『卒業式』の練習を取り入れていきます。授業での挨拶、指名されたときの返事の大きさ、礼の美しさ。一つ一つが卒業に向けての練習です。毎日下校時にする挨拶。最近の6年生を見ていると、「礼」がとても美しくなりました。まさに「卒業式の礼」です。そうやって、卒業生として下級生への「手本」を示していくのだという気合を感じます。いよいよ仕上げの3学期。どの学年も、さらに成長していきます。

